

保護林モニタリング簡易調査の実施及び進捗について

経緯

予算の縮小に伴い、令和5年度保護林モニタリング調査実施予定箇所の内、一部を職員実行による簡易調査で代替。

対象は希少個体群保護林の内、重点対策17保護林に含まれない6保護林を選定。

対象保護林

- ・ 釈迦院スギ希少個体群保護林（熊本南部）
- ・ 崩川内モミ等希少個体群保護林（熊本南部）
- ・ 柏山アカマツ等遺伝資源希少個体群保護林（大分）
- ・ 大石檜山アカガシ等希少個体群保護林（大分）
- ・ 国見山コウヤマキ等希少個体群保護林（西都児湯）
- ・ 重永カヤ等遺伝資源希少個体群保護林（宮崎）

調査方法

保護林モニタリング簡易調査チェックシート（鳥獣害・気象害等、シカ被害レベル）への記入、写真（プロット直上東西南北、その他シカ被害等）撮影、GNSSデータの記録

進捗状況（R5.7時点）

- ・ 釈迦院スギ → 署へ調査依頼中
- ・ 崩川内モミ等 → 通行止めのため到達不能（調査中止予定）
- ・ 柏山アカマツ遺伝資源 → 局職員同行の上、実施・報告済み（資料6-1-1参照）
- ・ 大石檜山アカガシ等 → 局職員同行の上、実施・報告済み（資料6-1-1参照）
- ・ 国見山コウヤマキ等 → 局職員同行の上、9月頃実施予定
- ・ 重永カヤ等遺伝資源 → 署へ調査依頼中